

宮城特養を名実共 日本一のサービスに 地域包括ケアへと広め そして世界へ 〜〜代表理事 大川 昭雄〜〜



●一万人市民委員会は、1997年、広汎な市民団体との連帯で、「市民のための介護保険」づくりを成し遂げ、息つく暇もなく、1998年には「保険あってサービスなし」は許されない。と、今度は一万人市民委員会宮城の独自活動で、「介護サービスの基盤整備」活動に取り組み、サービス開始直前に「何時でも」「どこでも」を達成した。

●量的拡大を見極めた後2001年、「介護サービスの質の向上」のため、特養の評価活動にとりかかり、10ヶ月で全施設を終了させることができた。施設側希望による補充評価も終え、その結果、「最高レベルの施設は他県にもあるが、少なくとも、県内施設の平均水準では全国一である」と評価するに到った。

●あれから10年
その後、制度立ち上げの遅れもあって、第三者評価は行われなかった。2005年に始まった「情報の公表」は、「ある」「なし」だけの調査なので、良いところはよりよく、悪いところは悪いまま(規制緩和もあって)、現状では、格差が広がっているのではないかと、一抹の危惧を抱いていた。

●そして始まった特養第三者評価
トップを切った「バルシア」(地域包括支援センター議長施設)、続いて実施した「白東苑」(仙台市老人福祉施設協議会会長施設)の評価が終わったところでは、10年間の蓄積が十分に実感できる評価結果だった。このまま受審施設が続々と続き、

10年前にはいまいち確信が持てなかった、「最優秀施設」「県平均」二つ揃っての「日本一」を達成できるのではないかと、期待をふくらませている。

●その日本一のサービスを、「地域包括ケア」の年内立ち上げによって、県内すべての利用者に広めるスタートにしたい。

●そして7年後
「東京オリンピック2020」にいられた世界の人々に、是非、宮城特養のサービスを実感してもらい、「お」「も」「て」「な」「し」の決め手にする。これをもって私の仕事納めにしたい。

『福祉サービス第三者評価調査の目指すもの』

〜〜第三者評価とは、その効果は〜〜

箕輪 元三

- 第三者評価の調査機関として宮城県知事の認証取得：平成19年8月13日
- これまでに実施した事業所(平成20・23年度) 知的障害者関連施設：宮城県船形コロニー等7施設
- 今年度(25年度)調査実施及び予定事業所
 - ・平成24年度から、新たに調査対象として特別養護老人ホームが追加され、その第1号として「特養バルシア」、次いで「特養白東苑」の調査を完了し、一万人のホームページ並びに宮城県ホームページに公表されております。引き続き、「特養常盤園」等の調査が予定されております。第三者

の目で見ることの大切をこれからも訴えていきたいものです。

- 新たな分野への調査機関資格の取得(全国共通資格)
 - ・平成24年度から、新たに調査が義務化された「社会的養護関係施設」への調査機関の認証を取得しました。(平成25年6月)同時に定款の変更手続きに入り、9月25日に全ての手続きを完了し、新たに社会的養護関係施設の調査に着手する体制ができました。

理想的な老後を迎えるためには…

鹿又 智恵子

外部評価調査員の資格を頂いてからちょうど1年になりました。

私は事務局の仕事をやらせて頂いているので今ま

で書類の上だけの事でしたが、生の声をお聞きしたり、現場の雰囲気を感じたり、貴重な経験をさせていただいたと思っております。そして先輩調査員の方々のご苦勞がほんの少しだけですがわかったように思います。

利用者やスタッフの方々にもっと優しい介護保険の制度であって欲しいと思いつつ、私的には介護保険を使わない元気なお年寄りを目指したいとずっと思っておりましたが、現実には年々体の衰えを感じ、理想とする老後を迎えるためには日頃から意識して身体を鍛えないと…、今のようにならだらとした生活ではいけないと真剣に思う今日この頃です。



地域密着型サービス評価を体験して

碓田 かね子

地域密着型サービス評価がどんな仕組みでどんな調査をするのか何も分からないまま研修を受けてしまった。

研修が進むにつれ自分ができるのか不安が増した。同行研修で調査に行った時「どうしよう」が実感で私には出来ないと思い辞めることはできるのかなと思ったりした。

先輩の調査員の人達は「大丈夫、経験を積むことだよ」と言うが…

3回の調査で主任と言われ、ストレスは最高潮に達した。同行した方に助けられ調査は何とか終わったが緊張で大変な1日となった。事業所の優れているところや工夫していることや実践状況を限られた字数で納め文章にすることは想像以上に困難だった。同行した方に全項目訂正され大変手間をかけてしまった。文才の無さに自己嫌悪に陥ったがこのまま辞めたら悲しいと思った。

自分が目指す調査員は、事業所が書いた自己評価をよく読み、ガイドラインの評価項目の意味するところを一つひとつ考え事業者が今できることは何かどのような姿勢で取り組むべきかを事業所と一緒に考え実践やチームケアに結びつけかけになり、利用者が安心して生活ができることです。

何年か後に研修を終えドキドキしている後輩に「大丈夫、経験を積むことだよ」と言える日が来ることを期待しながら…



消化不良解消？

兼平 幸雄

訪問調査の際、利用者さんと昼食を一緒にとらせて貰うのであるが、かつて社員食堂の喧騒の中での忙しい食事に慣れ親しんできた身にとっては結構緊張する一刻である。

食事の入り方、切り上げのタイミング、会話の仕方、等々どうしたものだろうかと…そんなこんなで調査項目の中の「食事を楽しむ…」の項目についての自分なりの解釈・咀嚼ができていない消化不良の状態に臨んでいたのである。そんな在る時、食卓につき箸を進めているうちに「ありがとネ」「いいヨ」・「ありがとネ」「いいヨ」と言う介助される人と介助する人の短い会話が一定の間隔でリズムカルに聞こえてきた。その時これが食事を楽しむことだと思ったことである。かくして、私の「食事を楽しむ…」の項の消化不良は解消され、その夕は何時にもない晩酌を楽しんだのは言うまでもない。



外部評価の調査に従事して

高橋 一光

地域密着型外部評価の調査に従事し、最初に感じたのはこれが“調査だ”と思った。

被調査事業所の経営にも影響しかねない外部評価、調査の責任は重い。短い調査実践期間であったが良い先輩調査員に恵まれ大変勉強になった。

今後、学校での予習・復習の考えを念頭に、勉強をし、被調査事業所に対する良き調査機関として頑張っていきたい。



笑顔が続きますように

武田てい子

外部評価調査員をさせていただくようになり、一年程になります。調査で事業所に伺い、職員の方々が入居者、利用者の



心に寄り添い、細やかなケアをされている様子が私は大変心が温まります。また、入居者とのお話、お世話することがととても楽しいという表情をされていた若い職員さんが印象的で、多くの方の笑顔これからたくさん引き出してくれることと思っております。

私は事務と調査の両方をさせて頂く事で、調査に関わる方々が気持ち良く携われるように、これまで以上に心配りをし、一つひとつの事に丁寧に取り組んで行く姿勢を忘れないようにしていきたいと思っています。

自己叱咤

高野 剛

2009年7月に訪問介護等12サービス講習を終え、2012年まで専任の「介護サービス情報の公表調査員」だった。2012年7月自分には不向きと避けてきた「地域密着型サービス評価調査員養成」研修に挑戦と相成った。思っていた通り、なかなか具体的に理解し得ない状態で講習を終えた。8月9日グループホーム「やすらぎ苑利府」での実践を実習し、調査員として10月「やすらぎ苑古川」、「やわらぎ」の2件、11月「親孝行」1件、12月「オリーブ」1件を体験した。



2013年1月22日「清水沢あさひ園」で主任の初体験。2月「あったかいごこおりやま」調査員、「おうじゅ」主任、「けやきの里」調査員と体験した。9月現在2012年度の最後の調査からすでに7か月経過している。本番が迫って来ないと真剣に取り組めない悪い癖がある。いままでグループホームの体験のみだったが、9月18日小規模多機能型居宅介護「福寿草」調査員を初体験し、複雑な仕組みにため息。今年度もこれをきっかけにしっかりがんばって行きたいと思う。

事業所の応援団に...

庄司 恵子

大川代表の一言で軽い気持ちで地域密着型外部評価調査員の研修を受ける事になった。



実際調査を体験してみ

ると己の人間性や知識の無さを痛感した。「事業所の応援団」のつもりで何とかなるとタカをくくって臨んだが散々な結果だった。先輩方の外部評価に対する取り組み方は素晴らしいもので何とか助けられながら報告書を提出したが、それが公表されていると思うととても恥ずかしく事業所に申し訳ない気持ちでいっぱいである。

それぞれの事業所のスタッフは認知症の方に寄り添いながら日々を過ごしている。

私たちはもっともっと認知症について理解を深め自分たちの周りにも知らせて行かなければならないことを痛感した。

評価調査員になって

佐藤 清

昨年、サービス評価調査員養成研修を修了し、外部評価調査員となり、その後先輩調査員の方々と同行調査を経て、今年3月まで13事業所の調査を行いました。



調査した事業所の中から、将来、自分が入居したいと思う施設は、管理者が自ら「気配り、目配り」「優しさ」を手本として実践し、社員指導を行っている。(入居者、社員も笑顔で明るい) なかには入居したくないと思う施設もありました。

昨年92歳の親戚の方が、前日まで畑の草取り、翌朝布団の中で亡くなっていた。(大往生) 自分も家庭菜園、各種ボランティア活動等により認知症にならないような日常生活を送りたいと思っています。また毎年、目標をたてて達成を目指している。今年は「富士登山」7月に達成しました。

第2回理事会模様

★2013年7月10日(水)、仙台市中央市民センターにおいて、理事総数19名中15名出席のもと第2回理事会が開催された。

☆議題は次のとおり

- 1、2013年度役員の任務分担について
 - 2、事業のあり方検討委員会について
 - 3、福祉サービス第三者評価の調査活動について
 - 4、介護サービス情報の公表について
 - 5、地域密着型サービス外部評価について
 - 6、諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について
 - 7、財政について
 - 8、広報、組織、総務関係について
 - 9、次回理事会日程について
- 議事の詳細については事務局備付けの議事録を閲覧できます。

第3回理事会模様

★2013年9月12日(木)、仙台市中央市民センターにおいて、理事総数19名中13名出席のもと第3回理事会が開催された。

☆議題は次のとおり

- 1、事業のあり方検討委員会について
 - 2、福祉サービス第三者評価の調査活動について
 - 3、介護サービス情報の公表について
 - 4、地域密着型サービス外部評価について
 - 5、諸会議、研修会などの参加状況と今後の計画について
 - 6、残高試算表(8月末)と財政の推移について
 - 7、広報、組織、総務関係について
 - 8、次回理事会日程について
- 議事の詳細については事務局備付けの議事録を閲覧できます。

研修会実施状況

平成25年度「情報の公表」

第1回フォローアップ研修会開催

平成25年7月5日(金)、仙台市中央市民センター第2セミナー室に於いて「震災復興から考えるコミュニティ福祉」と題して東北大学大学院研究室専門研究員(当会講師)本間照雄先生の基調講演が行われた。
【参加者31名】



平成25年度介護サービス情報の公表

調査員全体研修会開催

平成25年9月5日(木)、フォレスト仙台第1・第2会議室に於いて宮城県指定情報公表センター内田幸雄氏を講師に迎え、「介護サービスネットワークみやぎ」と「介護の社会化を進める一万人市民委員会の合同研修会が開催されました。【参加者62名】



平成25年度地域密着型サービス

評価推進研修会

平成25年9月24日(火)、宮城県庁講堂に於いて「サービス評価の当事者である事業所、外部評価を実施する評価機関及び制度を運用する市町村の各関係者が、地域密着型サービス評価の目的、効果及び活用方法等を共通理解し、サービス評価を円滑かつ効果的に実施すること」を目的とした事業所、評価機関、市町村の三者合同の研修会が開催された。

特定非営利活動法人地域生活サポートセンター事務局長平林景子氏の「サービス評価の円滑かつ効果的な

実施、活用方法」についての講話の後、関連のグループワークを行われ、その後、評価機関から介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会副代表理事早坂幸代氏と介護サービス非営利団体ネットワークみやぎの副理事長入間田範子氏、事業所からは有限会社ポプラ・グループホーム歩風楽介護主任兼ユニットリーダー菅原幸恵氏と小規模多機能型居宅介護事業所代表井上博文氏の事例報告が行われた。

続けて、意見交換と事業所及び評価機関の取組についてのグループワークを行い、まとめと講評があり研修を終了した。

賛助団体会員事業所紹介

当会の活動に日頃よりご支援、ご協力をいただいております賛助団体会員様の事業所のご紹介をシリーズでお送りいたしております。(あいうえお順)

本内容は、各特別養護老人ホーム様から項目にそった概要をご提示いただき、その原稿をそのまま紹介させていただいております。

なお、詳しくは次の URL: Welcome, Donto! <http://www.donto.co.jp/> をご覧ください。

特別養護老人ホーム

寿楽苑



- 経営主体 社会福祉法人 大崎誠心会
- 所在地 宮城県大崎市古川小野字上蝦沢 57 番地
- 電話・FAX TEL 0229-28-1600 FAX 0229-28-1601
- 開設年月 平成 8 年 7 月 1 日
- 居室改修
- E-mail juraku@dolphin.ocn.ne.jp
- URL

施設紹介写真



- 左上:居室(従来型個室)
- 中上:居室(多床室・中央壁仕切りあり)
- 右上:特殊機械浴・一般浴室
- 左下:中庭中央吹き抜け
- 右下:1階地域交流ホール



入居定員

| 定員別 | 個室 | 2人 | 3人 | 4人 | その他 | 居室合計 | 入居総定員 |
|-----|-----|----|----|-----|-----|------|-------|
| 部屋数 | 14室 | 4室 | 0室 | 12室 | 2室 | 32室 | 70名 |

職員体制

◆ 1:1.78

入居待機状況

平成 25 年 8 月 1 日現在

606 名

入居経費概要

| | |
|-------|---|
| 居室使用料 | 1日 320円(多床室) 320円、420円、820円、1,150円(従来型個室) |
| 食事費 | 1日 1,380円(300、390、650、1380) |
| 光熱水費 | |
| その他 | 家庭用電化製品使用時 1ヶ月 1,000円。貴重品管理料 1ヶ月 2,000円 |
| 月額合計 | 実費 + 利用者一割負担 |

施設の特徴

ご利用者・ご家族の思いを組み入れた入所プランに基づき、ご利用者ご自身がその人らしく快適に、安心して生活できるように支援します。

特別養護老人ホーム

春圃苑



- 経営主体 社会福祉法人 春圃会
- 所在地 宮城県気仙沼市本吉町中島 358-3
- 電話・FAX TEL 0226-42-3100 FAX 0226-42-3117
- 開設年月 平成 3 年 4 月 1 日
- 居室改修 ユニット共有スペース増改築
平成 18 年 12 月、平成 19 年 12 月
- E-mail syunpoen@ray.ocn.ne.jp
- URL

施設紹介写真



- 左上：施設景観
- 中上：一丁目リビング
- 右上：二丁目リビング
- 左下：三丁目リビング
(食事風景)
- 右下：敬老会



入居定員

| 定員別 | 個室 | 2人 | 3人 | 4人 | その他 | 居室合計 | 入居総定員 |
|-----|----|----|----|-----|-----|------|-------|
| 部屋数 | 8室 | 0室 | 0室 | 13室 | 0室 | 21室 | 60名 |

職員体制

◆ 1:2

入居待機状況

平成 25 年 8 月 1 日現在
129 名

入居経費概要

| | |
|-------|---|
| 居室使用料 | 個室 1日 1,150 円、4人部屋 1日 320 円 |
| 食事費 | 1日 1,380 円 |
| 光熱水費 | 電化製品使用料 1日 50 円 |
| その他 | 貴重品管理サービス料 1ヶ月当たり基本料 1,000 円、預貯金1件につき 100 円加算 |
| 月額合計 | 介護報酬利用者負担額（1割）は次のとおり。この他にサービスの利用に応じた上記の料金が加算されます。 |

施設の特徴

本苑は、経営理念にも掲げられている「利用者様の意思を尊重した自己決定原則に基づく施設サービスの提供」に努めております。長期利用者様へのサービス提供にあたっては、年 2 回家族面談を実施し、ケアプランの内容を説明し、ご確認いただくとともに、苑に対するご意見・ご要望も徴しております。

QOLの向上については、身体拘束をしないケアの提供、口腔ケアの徹底、入浴・排泄の改善についての取り組み、食事サービスの充実化、音楽療法士による音楽療法（週 1 回）の開催、職員の委員会単位による各種行事（足湯・ラーメン屋台・ドライブ・お茶会・居酒屋等）の開催、ボランティア団体共催での夏祭りの実施、理髪店、苑内販売、移動図書館の開催、絵画の展示等により、利用者様の生活が豊かで生きがいの創出につながるようバラエティーに富む生活環境を整えるよう努めております。

また、知的障害者授産施設へのシーツ交換業務の委託や障がい者雇用に取り組み、施設現場からノーマライゼーションの具現化に努めております。

職員の資質向上については、OJTを計画的に実施し、また、外部研修にも積極的に派遣し、資質向上に努めるとともに、さらに、全事業所を横断的に組織化した 8 委員会（安全対策、広報、QOL、感染症対策、口腔ケア、排せつケア、研修、夏祭り）において、多職種との協働によるサービス提供の確立を目指し、専門職として高い倫理観と理論に基づくサービスを実践できるよう日々向上に向け自己研鑽に努める取り組みをしております。

また、開かれた苑づくりを進めるとともに、職員を地域（自治会福祉活動等）へボランティア派遣し、職員の専門性を生かし、介護予防や福祉活動など地域貢献活動に取り組んでおります。

特別養護老人ホーム

聖母の家



- 経営主体 社会福祉法人 あけの星会
- 所在地 宮城県角田市横倉字丸山1
- 電話・FAX TEL 0224-62-1731 FAX 0224-62-1720
- 開設年月 平成2年5月25日
- 居室改修
- E-mail seibo@comet.ocn.ne.jp

施設紹介写真



- 左上:正門
- 中上:聖母ホール
- 右上:聖母ホール外観
- 左下:マリヤの家



入居定員

| 定員別 | 個室 | 2人 | 3人 | 4人 | その他 | 居室合計 | 入居総定員 |
|-----|----|----|----|-----|-----|------|-------|
| 部屋数 | 2室 | 0室 | 0室 | 12室 | 0室 | 14室 | 50名 |

職員体制

◆ 1:3

入居待機状況

平成25年8月1日現在
161名

入居経費概要

| | |
|-------|--|
| 居室使用料 | 個室・4人室共に 月額 9,600円 (利用者負担第1段階の方は0円) |
| 食事費 | 利用者負担第1段階 月額 9,000円 第2段階 月額 11,700円 第3段階 月額 19,500円 第4段階 月額 41,400円 |
| 光熱水費 | |
| その他 | 夜勤職員配置加算 月額 660円 他 理容(1,500円~)、希望物品(実費負担) |
| 月額合計 | 40,000円台~60,000円台 (要介護度による) |

施設の特徴

聖母の家は、キリストの愛の精神に基づき、自分が人にしてほしい事を人にしてあげるといふ思いやりの精神で、日々お年寄りの介護にあたっております。また職員同士の礼節をわきまえ、和を大切にし職員もお年寄りも、かけがえのない大家族の一員として共に生活していく環境作りにも力を入れております。

特別養護老人ホーム

泉寿荘



- 経営主体 社会福祉法人 泉寿会
- 所在地 宮城県仙台市泉区上谷刈字長命 10
- 電話・FAX TEL 022-777-7688 FAX 022-777-7681
- 開設年月 平成 14 年 6 月 11 日
- 居室改修
- E-mail senjusou@io.ocn.ne.jp
- URL <http://www.izumiseikei.com/senjukai>

施設紹介写真



- 左上：居室（従来型個室）
- 中上：居室（多床室・中央壁仕切りあり）
- 右上：特殊機械浴・一般浴室
- 左下：中庭中央吹き抜け
- 右下：1階地域交流ホール



入居定員

| 定員別 | 個室 | 2人 | 3人 | 4人 | その他 | 居室合計 | 入居総定員 |
|-----|-----|-----|----|----|-----|------|-------|
| 部屋数 | 36室 | 32室 | 0室 | 0室 | 0室 | 68室 | 100名 |

職員体制

◆ 1:2

入居待機状況

平成 25 年 8 月 1 日現在
312 名

入居経費概要

| | |
|-------|---|
| 居室使用料 | 0～1,150 円（日額、収入段階・介護保険負担限度額・認定証提示により異なる、光熱水費含む） |
| 食事費 | 300～1,380 円（日額、介護保険負担限度額・認定証提示により異なる） |
| 光熱水費 | なし |
| その他 | 散髪代、日用品代など |
| 月額合計 | 概略 43,058 円～104,859 円（詳しいことは入所のご相談の際ご説明させていただきます） |

施設の特徴

周囲を緑で囲まれた長命地区の静かな環境にあり、建物は 4 階建てで、1 階には自宅から生活リハビリを目的に通う「デイサービスセンターラビット」、2・3 階には介護が必要な状態の方々が生活する「特別養護老人ホーム 泉寿荘」、4 階には概ね自立されている方が利用する「ケアハウスドルフィン」があります。特別養護老人ホーム 泉寿荘は、ひとつのフロアで少人数（12～13 名）の「グループケアユニット」方式を採用し、居室は 1 人部屋 36 室、2 人部屋 32 室（壁仕切りあり 1 人部屋に近い状態）と個室化が進んでおり、プライバシーを重視しております。利用者お一人お一人の自主性を尊重し、家庭的な雰囲気のもと、集団的管理にならないよう配慮しながら、各個人のニーズに合わせた生活を保障し、専門的なサービスを提供することを基本とし、次の方針で運営しています。

- 1、ひとりひとりのリズムを支える「家」、2、不安や混乱を予防し。緩和する「家」、3、秘めている力を活かし、自立（自律）を目指す「家」、4、自分の思いや意思を大切にされる「家」、5、「らしさ」「誇り」が保たれる「家」
- 6、地域や自然と「共存」する「家」、7、「思いやり」と「微笑み」の絶えぬ「家」

特別養護老人ホーム

仙台楽生園



- 経営主体 社会福祉法人 仙台市社会事業協会
- 所在地 宮城県仙台市青葉区葉山町 8-1
- 電話・FAX TEL 022-273-4920 FAX 022-273-8510
- 開設年月 昭和 62 年 4 月 1 日
- 居室改修 平成 17 年 12 月 1 日
- E-mail rakuseien-u@wing.ocn.ne.jp
- URL <http://rakuseien.jp>

施設紹介写真



- 左上：おもちゃ図書館
- 中上：交流ラウンジ
- 右上：展望風呂
- 左下：喫茶レストラン
- 右下：テイルーム



入居定員

| 定員別 | 個室 | 2人 | 3人 | 4人 | その他 | 居室合計 | 入居総定員 |
|-----|-----|----|----|-----|-----|------|-------|
| 部屋数 | 56室 | 5室 | 0室 | 10室 | 4室 | 75室 | 110名 |

職員体制

◆ 1:2

入居待機状況

平成 25 年 8 月 1 日現在
237 名

入居経費概要

| | |
|-------|---|
| 居室使用料 | 0～1,970 円（日額、介護保険負担限度額認定証提示により異なる） |
| 食事費 | 300～1,380 円（日額、介護保険負担限度額認定証提示により異なる） |
| 光熱水費 | |
| その他 | 1,027～1,067 円（日額、要介護 5 の場合、介護福祉施設サービス費・その他加算） |
| 月額合計 | 40,453～133,185 円（上記と月額の加算の合計、30 日分） |

施設の特徴

仙台楽生園は昭和 62 年に開設した長期 50 名・短期 4 名入居の 2 階建ての本館と、平成 17 年に増築した長期 40 名・短期 16 名入居の 6 階建てのユニット館があります。平成 17 年からは、特別養護老人ホームの他に、ケアハウス、グループホーム、認知症対応型デイサービスセンター 2 ケ所、ヘルパーセンター、訪問看護センター、ケアプランセンター、地域包括支援センターを併せて開設し、仙台楽生園ユニットケア施設群として、介護保険 10 事業を包括する総合福祉施設として生まれ変わりました。全ての事業所が 10 人前後の家庭的なユニットケア方式を取り入れ、個々の人権に配慮した一人一人の顔が見える介護を提供しています。

特別養護老人ホーム



チアフル岩沼

- 経営主体 社会福祉法人 敬長福祉会
- 所在地 宮城県岩沼市三色吉字中の原 75 番 1 号
- 電話・FAX TEL 0223-25-5661 FAX 0223-24-6803
- 開設年月
- 居室改修
- E-mail chiahuru-iwa@soleil.ocn.ne.jp
- URL

施設紹介写真



- 左：個室（長期：従来型個室）
- 中：2人部屋（長期・短期：多床室）
- 右：個室（短期：ユニット型個室）



入居定員

| 定員別 | 個室 | 2人 | 3人 | 4人 | その他 | 居室合計 | 入居総定員 |
|-----|-----|-----|----|----|-----|------|-------|
| 部屋数 | 26室 | 27室 | 0室 | 0室 | 0室 | 53室 | 80名 |

職員体制

◆ 1:2.3

入居待機状況

平成 25 年 8 月 1 日現在
682 名

入居経費概要

| | |
|-------|---|
| 居室使用料 | 多床室 320 円、従来型個室 1,150 円、ユニット型個室 1,150 円（1日） |
| 食事費 | 1,380 円（朝 350 円、昼 560 円、夕 470 円） |
| 光熱水費 | 無し |
| その他 | 事務管理手数料 500 円（1ヶ月） |
| 月額合計 | |

施設の特徴

岩沼市の西部新興住宅地区に位置しハナトピア岩沼の北側にあります。周辺にはチアフル保育園が隣接しており、園児との交流会を定期的を実施しております。

経営理念としては、『「明るく・楽しい・生き甲斐のある生活」を基本に自立した生活の中で「あなたらしさ」「ゆったり・いっしょに・たのしく・ゆたかな」一人一人が居心地の良い生活の場』を目指します。又、常に現在を見直し新しい改善を図ること。慢心せずに常に感謝の気持ちを持つこと。チームワークを大切にすること。快適な環境維持に努めること。それぞれが関わりあい助け合うこと。この五つの理念を掲げております。介護サービスの提供内容に関する特色としては、週1回の音楽療法や外出支援、行事等を通して「寝たきりゼロ」を目指し、朝夕の着替えや車椅子での離床を毎日の日課としています。

食事においては、誕生日には御希望の食事を提供しております。季節毎に行事食を提供しており、又、月1回御希望により出前を注文する日を設け、御利用者様の御希望に合った食事の提供に努めております。

特別養護老人ホーム



白鳥苑

- 経営主体 社会福祉法人 白珠会
- 所在地 宮城県栗原市瀬峰根岸 55-2
- 電話・FAX TEL 0228-38-3625 FAX 0228-38-2986
- 開設年月 昭和53年4月1日
- 居室改修
- E-mail
- URL

施設紹介写真



- 左：春の野点
- 中：草もちづくり・よもぎ摘み
- 右：お月見



入居定員

| 定員別 | 個室 | 2人 | 3人 | 4人 | その他 | 居室合計 | 入居総定員 |
|-----|----|----|----|-----|-----|------|-------|
| 部屋数 | 2室 | 5室 | 0室 | 12室 | 1室 | 20室 | 60名 |

職員体制

◆ 1:3

入居経費概要

| 居室使用料 | 多床室 | 1日当り | 320円 |
|-------|---------|--------|------|
| 食事費 | 1日当り | 1,380円 | |
| 光熱水費 | | | |
| その他 | | | |
| 月額合計 | 51,000円 | | |

入居待機状況

平成25年8月1日現在
100名

施設の特徴

開設以来30年「誠実」と「笑顔」をモットーにスタッフ一丸となって専門的なサービスを真心を込めて提供してまいりました。交通の便も良く、JR瀬峰駅から徒歩8分、バス停から1分で行ける町の中心地にあります。当施設は「介護の社会化を進める一万人市民委員会」より介護サービスの調査において特に優良な「グレードA」に格付けしていただいた経過があり、個人を尊重した介護を実践した結果、高い評価を受けました。

特別養護老人ホーム

白東苑



- 経営主体 社会福祉法人 仙台ビーナス会
- 所在地 宮城県仙台市太白区四郎丸字大宮 26-3
- 電話・FAX TEL 022-241-5990 FAX 022-241-5929
- 開設年月 平成 8 年 4 月 1 日
- 居室改修
- E-mail haku10en@alpha.ocn.ne.jp
- URL <http://care-net.biz/04/venus-fukusi>

施設紹介写真



- 左上:居室での介護
- 中上:居室での看護
- 右上:特浴による入浴
- 左下:リハビリテーション
- 右下:セラピー犬との交流



入居定員

| 定員別 | 個室 | 2人 | 3人 | 4人 | その他 | 居室合計 | 入居総定員 |
|-----|-----|----|----|-----|-----|------|-------|
| 部屋数 | 15室 | 3室 | 3室 | 10室 | 0室 | 31室 | 50名 |

職員体制

◆ 1:2.7

入居待機状況

平成25年8月1日現在
795名

入居経費概要

| | |
|-------|---|
| 居室使用料 | 0～1,150円 (収入によって異なります。) |
| 食事費 | 300～1,380円 (収入によって異なります。) |
| 光熱水費 | |
| その他 | 介護福祉施設サービス費の1割負担 |
| 月額合計 | 31,530～105,270円 (介護度により異なります。また、生活保護の方は除く。) |

施設の特徴

平成12年4月介護保険制度が開始され白東苑も大きな変革期を迎えました。それまでの措置制度から入苑者、利用者一人ひとりとの契約制度となり、サービス計画書(ケアプラン)に沿ったサービスの提供が大切になっております。平成15年8月には、優先入所制度が導入され、要介護度の高い方から入所されるようになりました。また、平成20年2月にはサービスの質の向上を目的にISO9001の認証登録を取得いたしました。このような中で生活施設である特別養護老人ホームの機能を果たすため、次のような個別性を重視した介護を行っております。

特別養護老人ホーム



花水木

- 経営主体 社会福祉法人 一視同仁会
- 所在地 宮城県石巻市鹿又字八幡前 15 番
- 電話・FAX TEL 0225-86-5088(代) FAX 0225-75-2298
- 開設年月 平成 12 年 9 月 1 日
- 居室改修
- E-mail hanamizuki.soumu@tois.ne.jp
- URL <http://care-net.biz/04/hanamizuki/>

施設紹介写真



- 左上:居室
- 中上:クリスマス会
- 右上:運動会
- 左下:居室前



入居定員

| 定員別 | 個室 | 2人 | 3人 | 4人 | その他 | 居室合計 | 入居総定員 |
|-----|----|----|----|----|-----|------|-------|
| 部屋数 | 8室 | 2室 | 0室 | 2室 | 0室 | 12室 | 20名 |

職員体制

◆ 1:1.5

入居待機状況

平成 25 年 8 月 1 日現在
92 名

入居経費概要

| | |
|-------|--|
| 居室使用料 | 国の定める基準費用額 |
| 食事費 | 1,680 円/日、おやつ代 100 円 |
| 光熱水費 | 家電製品使用に伴う電気料、1 日 5h 以内 10 円 (5h 経過する毎に 10 円加算) |
| その他 | 理美容代 1,500 円 |
| 月額合計 | |

施設の特徴

花水木は、20 床という地域密着型特養の特徴を活かし、大きなひとつの家族のような温かいホームを目指しております。入所者様一人ひとりと職員一人ひとりが、お互い一息つける状況でのコミュニケーションも大切にすること、また家族のように何気ない時間を傍に寄り添って過ごす時間も大切にすることで、家族としてのつながりを構築していきたいと考えております。

もちろん家族としてのつながりの他に、入所者様一人ひとりの尊厳や自尊心を大切にサービスを提供いたします。

更に施設のみならず、地域住民の方々や「花水木非常時協力員」はじめボランティアの方々のご協力も頂きながら、目指すホーム作りを日々進めております。

特別養護老人ホーム

一重の里



- 経営主体 社会福祉法人 杜の里福祉会
- 所在地 宮城県仙台市太白区秋保町湯元字上原 35 番地 8
- 電話・FAX TEL 022-397-3777 FAX 022-397-3770
- 開設年月 平成 19 年 5 月 20 日
- 居室改修
- E-mail morinosato3@mountain.ocn.ne.jp
- URL <http://www.morinosatofukushikai.com>

施設紹介写真



- 左上: エントランス
- 中上: リビング①
- 右上: リビング②
- 左下: ユニット廊下
- 右下: 居室内



入居定員

| 定員別 | 個室 | 2人 | 3人 | 4人 | その他 | 居室合計 | 入居総定員 |
|-----|-----|----|----|----|-----|------|-------|
| 部屋数 | 90室 | 0室 | 0室 | 0室 | 0室 | 90室 | 90名 |

職員体制

◆ 1:1.79

入居待機状況

平成 25 年 8 月 1 日現在
260 名

入居経費概要

| | |
|-------|--|
| 居室使用料 | 0~2,740 円 (日額、収入段階・介護保険負担限度額・認定証提示により異なる、光熱水費含む) |
| 食事費 | 300~1,380 円 (日額、介護保険負担限度額・認定証提示により異なる) |
| 光熱水費 | |
| その他 | 904 円 (日額、要介護度3の場合、介護福祉施設サービス費・その他加算) |
| 月額合計 | 36,120~150,720 円 (上記合計、30 日分) |

施設の特徴

特別養護老人ホーム一重の里は社会福祉法人杜の里が運営する2つ目の施設であります。「ご家族と一緒にご利用者の生活をつくりあげていきたい」そんな想いがお一人に対して二部屋をご用意する全国初の試みを現実のものとしたしました。実際に入居されてから「自分が不安なの」と仰りお母様のお部屋に泊まられるといった場面、また遠方で生活されている息子様がお盆に泊って行かれるといった場面がありました。施設に入居することでなかなか親子・夫婦の時間を持つことができないといった方が、一重の里に入居することで一緒に時間を過ごすことが可能となり、そんなエピソードを聞くことで私たち職員も 励みとなり、次の介護のヒントを得ることもできております。

お部屋をご自分の家として、そしてご家族が帰ってくる場所にしていきたいと思っております。母体施設である特別養護老人ホーム杜の里で学び・体験してきた介護をこの「一重の里」で実践・展開していき、ハードウェア・ソフトウェア両面からユニットケアを強力に推進して参ります。

また、杜の里福祉会そのものの母体である岩手県大船渡市の社会福祉法人成仁会が掲げる<「愛」をモットーとし「和」をもって「仁」に努める>を全職員心に持ち、ご利用者様お一人お一人の日々の生活を、心を込めてお手伝いして参りたいと考えております。

◆よろず相談会を開設しました

身近な困りごと、悩みごとなどの相談会を当会顧問の武田貴志弁護士、安田廣治司法書士を相談役に、両先生から法律、成年後見関係の分野に限定せず、よろず相談会として、会員の方やそのご家族がお持ちの生活全般、法律相談などに関する「なんでも」相談としていくことの了解を頂きました。(無料です。)

- * 時間：午後1時～3時(毎回)
お一人様1回30分程度を予定
- * 場所：テルウエル相談室(一万人市民委員会宮城事務所隣り)
- * 受付電話：022-293-8158

25年10月～26年2月までの開催日と担当相談役は次のとおりです。

- ・10月17日(木) 相談役 武田貴志弁護士
- ・11月13日(水) 相談役 安田廣治司法書士
- ・12月11日(水) 相談役 武田貴志弁護士
- ・1月22日(水) 相談役 安田廣治司法書士
- ・2月13日(木) 相談役 武田貴志弁護士

お気軽に相談願います。

活動状況

■福祉サービス第三者評価活動

社会福祉法人カトリック児童福祉会パルシア(仙台市)、社会福祉法人仙台ビーナス会白東苑(仙台市)の調査を終了しました。
※評価内容の詳細については「ニュースレターみやぎ(号外)」(近日発行予定)をご覧ください。

■介護サービス情報の公表訪問調査と地域密着型サービス外部評価活動

介護サービス情報の公表訪問調査は9月から、地域密着型サービス外部評価活動は7月から、開始しました。

●地域密着型サービス外部評価活動

7月～9月の訪問調査施設合計：30施設

- ・認知症対応型共同生活
介護(グループホーム)施設：27施設
- ・小規模多機能型居宅介護：3施設
- * 自己評価及び外部評価結果は、ワムネット <http://www.wam.go.jp> をご覧ください。

●情報の公表調査活動

9月の訪問調査施設合計：26施設

| | |
|--------------|-------|
| 介護老人福祉施設 | ： 1施設 |
| 訪問介護 | ： 4施設 |
| 訪問入浴介護 | ： 2施設 |
| 福祉用具貸与 | ： 1施設 |
| 居宅介護支援 | ： 3施設 |
| 特定施設入居者 | ： 0施設 |
| 通所介護 | ： 8施設 |
| 訪問看護 | ： 1施設 |
| 認知症対応型共同生活介護 | ： 5施設 |
| 小規模多機能型居宅介護 | ： 1施設 |
| 介護老人保健施設 | ： 0施設 |
| 通所リハビリテーション | ： 0施設 |
| 訪問リハビリテーション | ： 0施設 |

* 公表結果は、<http://www.kaigokensaku.jp/> をご覧ください。

■特養ホームページ

Welcome. DONTOホームページに当会「みやぎ介護便利帳」として県内の特別養護老人ホームの紹介をしており、各ホームに協力頂き2013年度更新が完了しました。今年度は、新たに大崎市「楽々楽館」と白石市「みずき」の2ホームに参加頂き、54ホームの紹介をしております。

☆☆☆ 事務局雑記帳 ☆☆☆

* 一万人事務局の年末年始休暇は、
12月28日(土)～1月5日(日)
となります。



幸せ感

柏倉 二男

駅構内の混雑している中で、乳母車に乗った赤ちゃんがすれ違うことがある。

赤ちゃんの目を見て笑いかけると、十中八九はにこっと反応してくれる。

こちらは何とも云えない気分になり幸せを感じる。

このように幸せ感というものは、難しいもので大それたことでもなく、ほんの些細な感じ方ではないかと思う。

どこで感じるかといえば、それは人間の五感である。視覚、聴覚、臭覚、味覚、触覚の五感である。

「美味しい！幸せ」という言葉は率直にそれを表している。幸せを感じるための道具がこんなに揃っているのである。私達の日常生活には色々な苦勞がまわり付いて来る。

できれば避けて通りたいこともある。しかしすべてが思うようにゆくものではない。

ならばそういった嫌なことの後に五感を総動員して、幸せ感を得られるようにこちら側から積極的に働きかけることが必要だろう。赤ちゃんは「幸せに育ってね」という当方からの願いににっこりと「あんたもね」と応えてくれるのである。

野外研修会のご案内

一万人市民委員会宮城県民の会会員の親睦と交流を図るため下記により野外研修を開催します。

- ア、日 時 平成25年10月31日(木)
- イ、場 所 茂庭荘 仙台市太白区茂庭
- ウ、参加費 2,000円(現地にて受領)
- エ、申込先 一万人市民委員会事務局
- オ、申込締切 平成25年10月22日(火)
- カ、集合場所 事務局前(テルウエルビル前)
- キ、集合時間 午前10時30分
- ク、先着30名
- ケ、その他

- ・雨天決行
- ・入浴無料(タオル持参)
- ・送迎バス付
- ・余技発表大歓迎

★参加申込は早めをお願いします。

今回初めて広報活動の充実に合わせた取り組みの第1弾として「野外研修会」を企画しました。大勢の方々の参加をお願いします。また、会員相互の親睦と交流を益々深めるため、第2弾、3弾への意見要望、企画案などをお寄せ下さい。

【編集委員：荒井、兼平、前田】

【編集後記】

ニュースレター107号より、編集員の一員に加わりました。これまで、あたりまえに頂き何気なく読んでいたこの一冊の中に、編集に携わった方々の沢山のご苦勞を知りました。

私も、これから色々な事を体験し、勉強していきたいと思えます。

107号より「交流の広場」を設けました。サブタイトルにありますようにテーマフリーのなんでも有りのページです。

皆様に開かれた、そして楽しく読んで貰えるニュースレターを目指して編集員一同共に頑張っていきたいと思えます。

ご協力よろしくお願いたします。 前田



特定非営利活動法人
 介護の社会化を進める
 一万人市民委員会宮城県民の会

〒983-0852
 仙台市宮城野区榴岡4-2-8 □テルウエル仙台ビル2階
 Tel: 022-293-8158 □ Fax: 022-293-8290
 ホームページ: <http://www.ichimannin.com/>
 Email: ichimannin@alpha.ocn.ne.jp

編集委員：荒井勝子 兼平幸雄 前田泰子